共通一第5号様式 見積参加者選考調書（特定随意契約用）

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調達件名	市立札幌病院 化学療法入院・外来選択の最適化支援業務
要求課	医事課
選定事業者	ボストン・コンサルティング・グループ合同会社
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。）	
令和5年度にボストン・コンサルティング・グループ合同会社（以下、「ボストン」という。）が行った、化学療法の入院・外来選択の最適化の支援業務に関する分析調査において、現在の診療報酬の体系や当院の病床稼働率等を踏まえ、一部の化学療法を外来から入院に移行することで、収益を改善できる余地があることが報告された。 この報告では移行のために必要な手法についても検討されており、報告された収益改善額を達成できる支援業務を提供することができるのは、実際に調査報告を行ったボストンのみである。 また、本業務は当院の事情を踏まえ関連部署と調整を行う必要があり、業務の実施にあたっては当院の事情に精通し、かつ業務の執行に必要な知識・経験が必須である。 ボストンは、過去に「夜間看護補助体制加算取得支援業務（H30：効果額約1.5億円）」や「役務契約最適化等支援業務（R2：効果額約700万円）を当院において実施していることから当院の仕組みにも精通した業者であり、さらに、複数の医療機関において本業務と同様の業務実績があることから業務の執行に必要な知識・経験が十分であると判断され、上記の条件を満たす唯一の事業者であると考えられる。 以上より、ボストンと随意契約（特定）により契約することといたしたい。	
根拠法令	地方公営企業法施行令第21条の13第1項第2号